

令和7年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム

日 時：令和7年5月9日（金）13:00～16:00

場 所：和歌山立情報交流センターBig・U

テーマ：「こんなこといいな、できたらいいな
～学校運営協議会が叶えてくれる～」



※本テーマは学校運営協議会の目指す姿を現しています。

学校運営協議会において熟議を行うことで、学校目標の実現への方向性や、抱える課題の解決方法を導き出すことができるなど、信頼される合議体であってほしいという思いが込められています。

参加者：190名（参集：87名 オンライン：103名）

【参加者の内訳】

教職員：49名 行政職員：51名 公民館関係者：21名
学校運営協議会委員：57名 大学院生：2名
登壇者：6名 和歌山県CSマイスター：4名

【 事 例 発 表 】

「地域とともにある学校づくり
～地域と学校の連携・協働の必要性和可能性～」
橋本市応其小学校 学校運営協議会

応其小学校運営協議会



📢 学校運営協議会での課題の共有から、課題解決に向けた取組までのスピード感！

課題の共有

全国学力・学習状況調査の結果から学力に課題があることを説明（R5.5月）

熟 議

教員の負担が増えることがないよう、地域の力で子どもたちの学力向上に向けた取組はできないか？

人材発掘

コーディネーターの方が指導員発掘のため、地域の方に声掛けを実施
→ 元教員を含む地域の方々が指導員として参加

取 組

低学年を中心とした『放課後学習教室』の実施（R5.11月）

展 開

2年生の九九の暗唱を聞く『九九チャレンジ』の実施

【 事 例 発 表 】

「熟議！大塔CS～地域力向上へ～」

田辺市立鮎川小学校・大塔中学校

大塔地域学社融合推進協議会



☞ 協議会を報告会にしない！≪熟議のミソ≫

事前に 執行部会を開催

全体会の20日前に、会長、副会長、校長、事務局が集まり
全体会での議題や提案の仕方について協議

事前に各委員へ 資料を送付

いきなり資料を配布すると、報告中心になってしまう。
事前に委員が目を通しておくことで、熟議の時間を確保

進行は地域で！ (会長)

校長、教頭が進行をすると、雰囲気固くなることが多い。
地域側の進行で、意見を言いやすい雰囲気づくり。

2つの部会で 実行力UP

分科会として2つの部会に分けて活動することで、焦点が絞
られた協議になり、委員の責任感向上にもつながる。

学校の運営を 協議する場

学校だけに 任すことではない

学校評価は私たち委員への 評価でもある

これは協議会での委員の言葉です。学校のお手伝いではなく、学校運営の**当事者**としての意識！

【 事 例 発 表 】

「高等学校の教育活動を豊かにするコミュニティ・スクール」

和歌山県立南部高等学校 学校運営協議会



☞ 学校運営協議会委員の当事者意識を高める『部会』と『人選』

部 会

- ・令和6年度は「評価部会」「域学連携部会」「プロモーション部会」を設定
- ・「評価部会」は委員がそれぞれの部会で【自分事】として取り組めたかを評価し、次年度の活動につなげるため、各部会の代表者と学校長の3名をメンバーとして構成
- ・「評価部会」以外の2部会は、その年度に取り組む重点テーマにより決定するため、新部会の設定も可能

人 選

- ・学校目標の実現のため、各部会の取組に対して効果的と考えられる人選
- 域学連携部会：元校長（卒業生）、教育長（卒業生）、中学校長、自衛隊広報官（卒業生）
- プロモーション部会：（一社）法人代表理事、PTA会長（卒業生）、NPO法人事務局長、総務省地域力創造アドバイザー

【 事 例 発 表 】

みはまコミスク「Team shiyora」

～みはま町（ちいき）で育つ みはまの子～
和歌山県立みはま支援学校 学校運営協議会



『地域から学ぶ』『地域で育つ』コミュニティ・スクール

学校と 地域を つなぐ役割

みはま町の社会教育主事（公民館常駐の職員）が、【美浜町の魅力ある人リスト】を作成したり、マンスリーみはま（HP）で学校運営協議会メンバーの紹介を行っている。

地域から 学ぶ

入院生へのオカリナコンサート、美浜町議会の傍聴、煙樹ヶ浜学習漁師さんの釣り講座、平和学習（日高大空襲について）、日系移民について等を、**教科学習**と結び付け学ぶ。

地域で育つ

煙樹ヶ浜・松林の清掃活動、近隣保育所での読み聞かせ、缶バッチワークショップの講師（町と連携し全世帯にチラシ配布）

友達や教師はもちろん、地域の方や様々な人とのつながりの中で育つ経験の中で、「自分らしく生きる 豊かに生きる」こどもを育むために。

【 講演・グループワーク 】

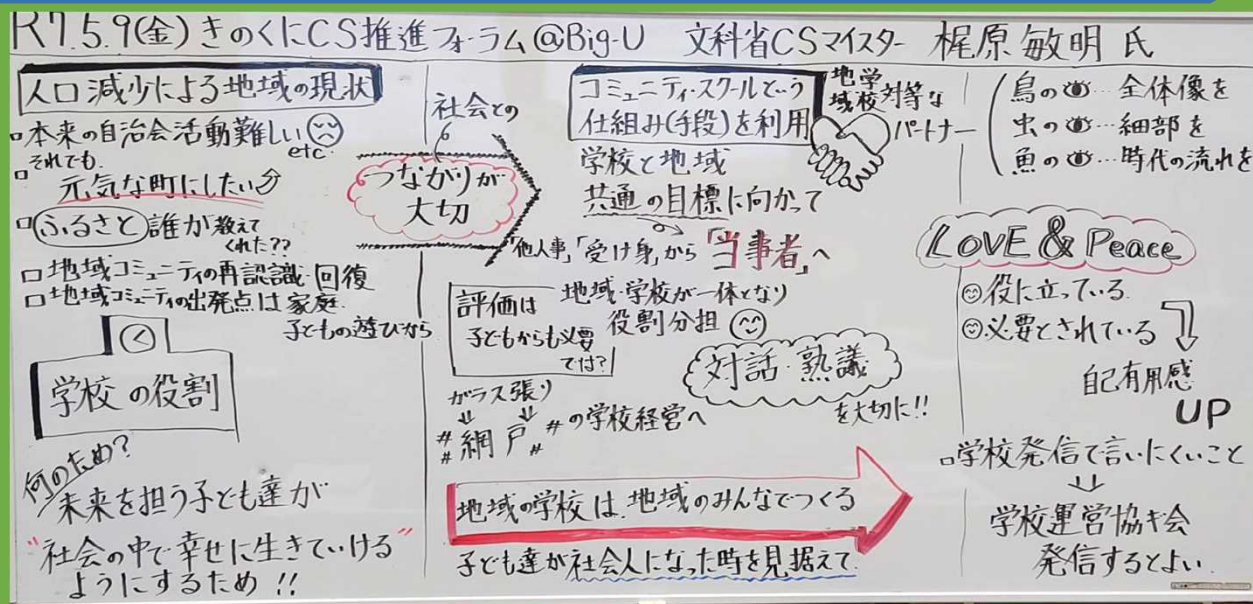
「地域との連携・協働による学校づくり＝持続可能なまちづくり
～人口減少社会における学校、家庭、行政の役割～」

梶原 敏明 氏

（文部科学省CSマイスター、大分県玖珠町教育委員会 教育長）



講演内容をファシリテーショングラフィックで！



※現場で講演を聞きながら記録したものです。（学校運営協議会でも『見える化』ご活用ください。）